

わがむく

発行：武川地域委員会 北杜市武川町山高1457-3 TEL 0551-42-1118

地域の人々の繋がりの機会を多くして、 地域を活性化していきましょう！

武川地域委員会会長 小澤 建 二



武川町民の皆様方におかれましては、令和7年(2025年)の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

北杜市が誕生してから20年、昨年11月の市長選挙により大柴邦彦市政が誕生しました。新市長は「北杜を前に」をスローガンに、北杜を愛し応援して下さる人々との「絆」の力を結集して、活力に満ち、市民が豊かさを享受できる北杜の未来を築いていくと、力強く宣言しております。

地域委員会は、市民と市が協働してより良い地域づくりを行っていくために設けられている組織です。武川地域のよさや伝統・歴史を継承し、より発展させるために、地域住民の声を新しい大柴市政に届け、施策を応援し支えていきたいと思っております。そのために、コロナ禍

によって諸活動が制限され自粛を余儀なくされたために弱くなってしまう人と人との繋がりが、「絆」の力の結集が求められています。少子高齢化、人口減少が確かに地域の活力を奪っている面もありますが、嘆いているよりはこの地域に昔からあった繋がりを若男女みんまで増やし広げていくことができれば、地域が衰退することなく活性化できるのではないのでしょうか。

さて、地域委員会予算使途事業、甲斐駒エリアふるさとまつりは、昨年度復活予定でしたが、奇しくも台風7号の接近により中止せざるを得なくなり、11月に抽選会と花火大会の実施のみとなりました。今年こそは必ずお祭りを実施するという強い意気込みを持って、実行委員長の末木基治さんを中心に実行委員、関係者全員が「第十七回北杜市甲斐駒エリアふるさと祭り」のために取り組み、当日は不安定な天候でハラハラどきどきしましたが、見事にやりきることができました。たくさんの方が祭りに参加してくださり、祭りを楽

しみ、満足感や充実感を得ることができ、地域の良さを実感したのではないのでしょうか。なお、予算削減対策として、従来からの地域住民の協力の他に、武川町内の17の企業から協賛金のご協力をいただきましたことに感謝いたします。

平成27年度から環境学習事業の一環として武川のよさを生かした星空観望会「みあげて星見里(ほく」と)武川地域委員会自主事業)を実施してきました。牛山俊男先生の熱心でアイデア溢れる企画により、今年度はピアノとバイオリンと星空講演のコラボレーションが実現し大好評を得ました。ちなみに北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会は昨年10周年を迎え記念事業を開催しました。また、過疎地域の取り組み優良事例全国表彰「全国過疎地域連盟会長賞」を受賞しています。

他にも地域支援事業として、地域の伝統文化の継承(お神楽、祇園祭が復活しました)、地域の美化活動、行政区での地域活性化事業(宮脇区の子ども祭りが復活し大好評

でした。区文化祭等が実施されました。子ども達の安全安心を守るための青色防犯パトロール隊活動、高齢者食事サービス、図書館活動活性化、児童館活動活性化、商工会環境整備活動なども検討を重ねながら続けてきています。大事な活動ですので支援が継続するようにしたいと考えています。

結びに、これからも地域委員一同自身を引き締め、地域の皆様の声をお聞きし、町及び市の発展に寄与すべく頑張りたいと思います。皆様方のご支援・ご協力をお願いいたします。



宮脇夏祭り



上三吹祇園祭典



大和神楽

星空講演・観望会

みあげて星見里実行委員会委員長 長坂 正

昨年武川地域委員会では、星空ファンの皆様が楽しみにして頂いています。星空講演・観望会を夏と冬の2回開催いたしました。

まず夏は、8月3日(土)甲斐駒センターせせらぎに於いて、第15回星空講演・観望会が開催されました。

今回の企画は、牛山俊男講師のスライドトークショーです。メインテーマは「星空を楽しむ集い」、サブテーマは「春から夏の夜空を訪ねて」です。100名の観客の皆さん



細川ヴァイオリニストと川口ピアニストの演奏

は、牛山講師の貴重な写真とトークに魅了され、ゆったりとしたひとときを楽しんでおられました。寄せられたアンケートでは、「スライドトークショーに感動しました」とか「良い思い出になりました」等のご意見を頂きました。又駐車場では観客の皆さんが講演会前後に、小川庸生先生の天体望遠鏡で星雲や星団を観察していました。

そして冬の第16回講演・観望会は、11月30日(土)にせせらぎで当会初の試みであります。「川口堯史ヴァイオリニストと細川智美ピアニストの演奏、それに牛山講師のスライドトークショー」のコラボレーションライブを開催いたしました。

今回は、大柴市長も参加されご挨拶をいただきました。会場のせせらぎ多目的ホールは130人の星空ファンの皆様で埋め尽くされました。

第1部は、牛山講師のスライドトークショー「秋と冬の夜空をめぐる」でございます。ヴァイオリンとピアノの軽やかな演奏に誘われて、映し出される秋の夜空・冬の夜空や

様々な天体の映像は、観客の皆さんをうっとりさせる、魅惑の星空ショーでした。



参加した子どもからの花束贈呈

第2部は、細川ヴァイオリニストと川口ピアニスト演奏&トークです。主な曲目は、「シヨパン 幻想即興曲」「ヴィヴァルディ 四季冬」「ブッチーニ 歌劇 トウランドット」です。力強い、可憐なプロの演奏には、観客も感動し「ブラボー」の掛け声が出る程の盛り上がりでありました。観客の拍手がやまずアンコールの演奏も出た「ヴァイオリンとピアノ&トークショー」のコラボレーションライブは盛況の中、終了しました。

今回も駐車場講演会前後に、小川庸生先生の天体望遠鏡で土星・オリオン座の大星雲・木星などの観察をしました。

★子ども育成支援事業★

4月スタッフの異動により、手探り状態でスタートした令和6年度でした。

子ども達のために何をしてあげるかが1番良いのかと四苦八苦の日々を過ごしていました。そんな中、子ども育成支援事業を知り、多くの方の御協力をいただいたことにより12月にクリスマス会を実施することが出来ました。また、1月には新年お楽しみ会を行いました。

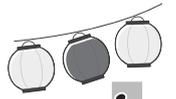
クリスマス会では、ビンゴ大会・じゃんけん大会・新聞紙で遊ぶほうを行い、最後にみんなでDVDを楽しみました。思いがけない展開がおこるたびに、大きな歓声があがり、笑顔あふれる楽しい会となりました。

今後とも、安心・安全の保育を基本に子ども達が楽しく生き生きと過ごすことが出来るよい居場所づくりをしていきたいと思っています。

これから
も、御支援・
御協力をよ
ろしくお願
いします。



クリスマス会 12.25



久しぶりにグラウンドで開催のふるさと祭り

甲斐駒エリアふるさとまつり実行委員長 末木基治



コロナ禍もひとまず収まり昨年（令和5年）は、5年ぶりにグラウンドで祭りが実施できると思っていた矢先に、台風上陸という予報が入って参りました。しかも当武川町では因縁の7号で8月14日駿河湾から富士川へ入ってくるという予報のため残念ながら早めに中止の処置を取り、後日（11月）抽選会と花火大会のみの実施となりました。

た。内容的にはまず市よりの補助金の減額や花火等物価の高騰に伴い資金不足のため町内の有力企業様に協力をお願いしたところ、多大なるご協力をいただきました。本当にありがとうございます。又、支所の人員削減に伴う人手不足を補うために部会を設置し各実行委員の皆様方にお願ひし部会ごとに活動していただきました。

さて、今年（令和6年度）は6年ぶりにグラウンドで実施すべく令和5年の11月より実行委員会でも何回か小委員会等を開催し検討を重ねて参りました。

今年は早朝より天気も良く久しぶりにグラウンドでお祭りができるという事で、観光協会等による中学校入口の提灯の設置をはじめ、その他の準備も順調に進みましたが、オープニングの中学生のイベントが始まる直前になり天候が急変し大雨でグラウンドがあったという間に水浸しになってしまいました。大急ぎで濡れてはいけないものをテントの中に入れてたり、又お客さんも多数来ていましたがお互いに譲り合いながらテントの中に避難して戴いたり



出演者の発表(フラダンス)

と大混乱になってしまいました。そんな中まわりの方々から祭りを中止したらという意見が寄せられてきました。が、すでに出店の方々には店開きを、又子どもさん方はビンゴゲームをするために雨の中続々と集まって来ていました。大変悩みましたが私の周りの方々のスマホの天気予報が1時間以内

予報通りしばらくして雨は上がりましたがその後が大変でした。グラウンドの水がほぼ引いた後も、真ん中の少し高い所は良かったが広い範囲が歩くのも困難な状態でした。それでも出演者、出展者、又多数の地域の方々を温かいご協力のもと多数のご来賓の方々をお迎えし、イベントから最後の花火まで無事終えることができました。

来年度（令和7年）も今年の反省点を踏まえより良いふるさと祭りが実施できるよう実行委員会の方々と相談しながら準備を進めていきたいと思っております。来年度もご協力よろしくお願ひします。

最後に翌日の15日に荒れたグラウンドを区長会長の神宮司さんや支所の職員の方々がきれいに整備をしてくださいました。改めて厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



みんなで楽しんだふるさと祭り

ので、このまま続行を決めました。

むかわ図書館活性化事業

武川図書館「桜、さくらの会」の事業について



表彰式と表彰状 11.29

むかわ図書館「桜、さくらの会」は公益社団法人全国読書推進運動協議会、第57回全国優良読書グループの表彰が行われ、都道府県各読書推進協議会の推薦により、受賞しました。むかわ図書館「桜、さくらの会」では、図書館の楽しみを子供たちに伝えたいという思いから、2010年図書館活性化と存続のために結成され、こどもから大人まで楽しめる様々なイベントを企画し実施してきました。「人と人」「人と本」を繋ぐため図書館と連携して活動してきました。今年度も人形劇、子供たちの読書活動支援など行いました。今回の受賞を励みに、個々のスキルを高め、より図書館が地域交流の場になるように楽しく活動していきたいと思っております。

武川地域委員会視察研修報告

山梨県立防災安全センターを訪ねて

災害時に大切な隣近所とのコミュニケーション

昨年二月八日に地域委員会視察研修で中央市にある山梨県立防災安全センターを訪れた。この日聞いた講演は『災害や防災について体験しながら楽しく学習しよう』というコンセプトだった。よくある単に説明的な内容ではなく被災者の実体験が多く時間の経つのが早く感じられた中身の濃いものだった。

また、このセンターは、防災情報・水害情報・防火防災・消火体験など多くのコーナーに分かれていて、さまざまな災害についての知識情報を得ることができた。中でも「地震の恐怖」というコーナーは、防災訓練でよく登場する起震車とは違って、暗闇の中で避難する体験をし、もしこれが現実だったら本当に恐いと感じさせられた。

一昨年の視察研修で静岡地震防災センターを訪ねた時は、このような施設が北杜市にもあったらいいと思ったものだが、県内にもこのような施設があるのわがかりとても心強く思った。このセンターの地震体験車は、県下各地に出向きさまざまな防災講座を提供してくれるということであり、各行政区での防災訓練の折に活用すれば有意義な訓練になると思う。

その他センター内では、119番通報の模擬体験と災害用伝言ダイヤルの利用体験もでき、いざという時のために非常のためになると思った。

「災害は忘れた頃にやってくる」とはよく言われるが、防災減災への取り組みは東日本大震災以降この地域でも何れも力を入れて実践されている。

しかし何より大切なのは、「備えの歌」(四)にある近所同士の助け合いである。これは施設や設備の問題ではなく住民同士の心の在り方が大切ということだ。常日頃から温かく優しい心をもち、地域をよくしていきたいものである。



いろいろな展示見学

「備えの歌」四季の歌の替え歌
(一)のちを尊ぶ人は、家具を固定してタンスの上の荷物はおろして足元片付けて

(二)準備してれば困らない地震が来ても非常持ち出し品と備蓄品を必ず備えよ

(三)入れ歯やメガネや補聴器を忘れちゃダメよ薬の用意と手帳とコピーも忘れちゃダメよ

(四)近所同士の助け合い一番大事だよ声をかけあい一緒に考え訓練しておこう

武川小五年生の

米づくり



武川小学校 校長 窪田 良樹

山梨県の幻のお米、通称「ヨンパチ」正式名称を「農林48号」といいます。一時その姿を消してしまい、武川町内で縁故米として消費する程度で、一般に出回ることとはほとんどありませんでした。種もみ自体も少なく「幻の米」といわれていました。おにぎりには最高のお米です。現在この農林48号の栽培が確認されている場所は主として武川町周辺です。真に幻のお米なのです。そんな米づくりを学校の学習に位置づけることになって二十二年が経とうとしています。

二〇一六年度から北杜市の地域盛り上げ隊とブルーゲートさんの協力を得て活動がより盛んになってきています。できあがった米は、今年十周年を迎えた「米・米まつり」で販売し一キロ入り百

今年度の主な活動を紹介します

6月5日	(水)	米作り事前学習
6月13日	(木)	田植え
6月20日	(木)	「アイガモロボ」プログラミング
8月27日	(火)	かかし作り
10月10日	(木)	稲刈り
10月27日	(日)	米まつり参加
11月9日	(土)	みのり集会で発表
11月22日	(金)	親子研修(おにぎり味噌汁作り)
12月7日	(土)	米食味分析鑑定コンクール国際大会 特別優秀賞受賞

袋の米を十五分で完売することができました。そして、親子研修として、おにぎりを作って食べました。自分たちで作ったお米でのおにぎりの味はより格別でした。

また、今年は北杜市で「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」が開催され、特別優秀賞を受賞することができました。これは、長年の取り組みが評価されたものであり、とてもうれしく思います。

武川小五年 鳥居 双葉

48米作りで、特に心に残ったのは稲刈り体験です。青い空の下にきれいな金色の穂が風になびいていて収穫日和でした。前日の雨で田んぼはグシャグシャだったけれど、育てた米が収穫できる事への感謝でいっぱいでした。

この学習では幻の米と呼ばれる48米ができるまでを体験して、作る人の苦労なども学びました。この学びを未来まで育んでいってほしいです。



米まつり

田植えの様子



みのり集会

「アイガモロボ」プログラミング



親子研修

かかし作り



稲刈り



国際大会特別優秀賞受賞

青少年育成防犯ボランティア事業

武川青色防犯パトロール隊

～隊員募集中～

青少年育成北杜市民会議のテーマは、「地域の子どもは地域で守り育てる」です。私たち通称「青パト隊」は、ボランティアとして集まった有志が活動を始めて今年で十三年目になりました。発足時は五人でしたが、隊員も今では十三人になりました。現在、武川町内だけでなく白州町内まで活動範囲を広げ、子どもたちの下校時の見守り活動をしています。活動は、土・日と夏休みや冬休みなどの長期休業中は、お休みです。小中学校の授業日に、一人月二回くらいのペースでの巡回パトロールを行っています。小中学校の下校時間に合わせて、青色回転灯をつけて町内を巡回しています。

さて、今年度の活動は、五月に武川小学校で「青パト感謝の会」がありました。今年も武川小児童の皆さんから、素敵な花のプレゼントとお礼の言葉をいただきました。



武川小青パト感謝の会

今年度は特に、武川町内（白州町が多かった）熊が頻繁に出没しました。隊員たちは、児童生徒の安心安全を心がけ巡回パトロールを行いました。さらに、警察署や防犯団体の行事である啓蒙活動にも参加



し協力しています。現在、隊員の年齢層も高齢化してきました。活動には、多くの方（さらに若いと結構ですが）携わっていただくと安心安全な町づくりにつながります。

最後に、青色回転灯の光が子どもたちの安心安全だけでなく、地域の防犯活動の一助にもなればと願っています。現在、青パト隊員を募集しています。月に二回程度の出勤です。小中学校の下校時間に合わせて、午



文責（事務局） 清水 茂人

武川小交通安全教室

後の二時頃から夕方まで時間を割くことが可能な方、甲斐駒センターせせらぎ（二〇一三〇一九）事務局まで。または、隊員に直接お問い合わせください。

武川青色防犯パトロール 隊員名簿 (令和7年1月現在)

隊長	日向勝	日向勝
	小澤光	小澤光
	長坂祐	長坂祐
	粟澤雅	粟澤雅
	田中満	田中満
	井出義	井出義
	溝口伸	溝口伸
	小澤建	小澤建
	溝口透	溝口透
	跡部元	跡部元
	小野勇	小野勇
	小俣正	小俣正
	小瀬上陽	小瀬上陽
事務局	清水茂	清水茂



子供達から標語募集

昨年1月～3月に、北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会では、10周年記念事業として、子供達からユネスコエコパークに関する標語を募集しました。対象は、武川町・白州町に住む小学校（4年生以上）の児童と中学校の生徒です。

まず各学校にエコパークの講師が、「標語を作るための知識」と「エコパークについての勉強会」を出前授業で行いました。標語は184名の子供たちから406点が提出されました、関係者の厳正な選定会で、最優秀作品2点・優秀作品4点・入選作品6点 合計12点が選ばれました。

武川地区では、最優秀作品に武川中3年生（当時）、齊木り



こなさんが選ばれました。作品名は「名山名水誇れる北杜守って繋ごう豊かな自然」です。この作品は、道の駅はくしゅうに設置した広告塔に掲示され（写真）、6月12日に広告塔の除幕式が子供たちの手で行われました。更に、6月15日には、南アルプスユネスコエコパーク10周年記念式典で12作品提供者の表彰がありました。

ふるさとふれあい事業

新型コロナウイルスも落ち着き、日常の生活がほぼ戻ってきていますが、まだまだ油断のできない状態です。

食生活改善推進員会では、高齢者の食事サービスを年に2回配食していましたが、新型コロナウイルスの影響のため、配食できない時期もありました。昨年より、年に1回ですが、配食することができるようになりましたが、私たち食生活改善推進員の活動も、年々、

編集後記

今回、広報誌発行にあたり寄稿にご協力いただきましたこと、ありがとうございます。

- 【編集委員】
小澤建一 切刀美津子 日向勝 長坂正
粟澤雅子 宮澤和子 溝口暁美